

注意書き：

[安全対策]
 保護手袋など適切な保護具を着用する。
 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
 取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。
 環境への放出を避ける事

[応急措置]
 飲み込んだ場合：大量の牛乳又は水を飲ませる。無理に吐かせない。もし吐いた時は重曹水を飲ませる。直ちに医師の手当を受ける。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当を受けること。
 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、医師の手当を受ける。体を毛布などで覆い、保温して安静を保つ。
 皮膚に付着した場合：多量の水及び石鹼で洗い流す。症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。汚染した衣類を再利用する場合は洗濯すること

[保管]
 直射日光を避け、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

[廃棄]
 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

上記で記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	： 単一製品
化学名又は一般名	： アミド硫酸
別名	： スルファミン酸
化学特性	： HOSO_2NH_2
分子量	： 97.09
CAS 番号	： 5329-14-6
含有量	： 99.9%以上
官報公示整理番号(化審法)	： 1-402
官報公示整理番号(安衛法)	： 公表

4. 応急措置

吸入した場合	： 新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、医師の手当を受ける。体を毛布などで覆い、保温して安静を保つ。
皮膚に付着した場合	： 多量の水及び石鹼で洗い流す。症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。汚染した衣類を再利用する場合は洗濯すること
眼に入った場合	： 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も

	洗浄を続けること。目の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	: 大量の水又は牛乳を飲ませる。無理に吐かせてはいけない。もし吐いた時は重曹水を飲ませる。直ちに医師の手当を受ける。
急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状	灼熱感、咳、息切れ、胃痙攣、咽頭痛、嘔吐、ショック
応急処置をする者の保護	: 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 本品は不燃性であるため、周辺火災に適した消火剤を用いる。
火災時の特有危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム（またはガス）が発生するため、消化の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	: 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	: 消化活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。空気呼吸器等の保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。風上から作業して風下の人を退避させる。
保護具及び緊急時措置	: 屋内の場合、処理が終わるまで十分の換気を行う。作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
環境に対する注意事項	: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収、中和	: 掃き取り、空容器に回収し、石灰又はソーダ灰を撒いてその後を多量の水を用いて洗い流す。
二次災害の防止策	: -

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 強酸性物質なので、アルカリ性物質との接触を避ける。
局所排気・全体換気	: 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
安全取扱注意事項	: 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵を発生させない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具

- を着用する。
 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 保管
 適切な保管条件 : 直射日光を避け、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して保管する。
 安全な容器包装材料 : ガラス

※標準物質としての適切な保管条件、使用に関する注意事項については、認証書を参照のこと。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

- 粉塵が発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。
 取扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置し、その場所を表示する。

保護具

- ◇呼吸器の保護具：防塵マスク
- ◇手の保護具：保護手袋
- ◇眼の保護具：側板付き保護眼鏡
- ◇皮膚及び身体の保護具：長袖作業衣

衛生対策

- ◇取り扱い後は汚染箇所を良く洗うこと
- ◇汚染した衣類を再利用する場合は洗濯すること

9. 物理的及び化学的性質

- ・外観 : 結晶性粉末
- ・色 : 白色
- ・臭い : データなし
- ・pH : 水溶液は強酸性
- ・融点 : ~205°C (分解)
- ・沸点 : データなし
- ・引火点 : データなし
- ・爆発範囲 : データなし
- ・蒸気圧 : データなし
- ・相対蒸気密度 (空気 = 1) : データなし
- ・比重又は嵩比重 : データなし
- ・溶解度 : 水に可溶 (17.5g/100ml)、エタノールに難溶、ピリジン、ジメチルホルムアミドに易溶
- ・n-オクタノール/
水分配係数 (log Po/w) : データなし
- ・自然発火温度 : データなし
- ・分解温度 : データなし
- ・燃焼性 : データなし
- ・密度 : 2.15 g/cm³

10. 安定性及び反応性

◇安定性

乾燥状態で安定。

◇反応性

- ・強い酸性化合物。還元性があり、塩素、臭素、発煙硝酸などと激しく反応する。加熱すると分解し、窒素及び腐食性のヒュームとガス（二酸化硫黄、アンモニア）を生成する。水溶液は徐々に加水分解して、硫酸水素アンモニウムを生じる。

◇危険有害反応性

- ・データなし

◇避けるべき条件

- ・日光、熱、湿気

◇混触危険物質

- ・データなし

◇危険有害な分解生成物

- ・窒素酸化物、硫黄酸化物、アンモニア

11. 有害性情報

急性毒性	経口 ラット LD50 : 3160mg/kg (RTECS)
	腹腔 ラット LDLo : 100mg/kg (RTECS)
	経口 マウス LD50 : 1312mg/kg (RTECS)
皮膚腐食性・刺激性	皮膚刺激 ウサギ 500mg/24h 重度 (RTECS)
眼に対する重篤な損傷性	目刺激 ウサギ 250 μ g/24h 重度 (RTECS)
／眼刺激性	目刺激 ウサギ 20mg 中程度 (RTECS)

12. 環境影響情報

生態毒性

- ・データなし

水生毒性

- ・水生生物に有害：長期継続的影響により水生生物に有害
- ・水生毒性(急性)：魚類（ファットヘッドミノー）LC50 = 70.3mg/L/96hr (ECETOC TR91, 2003)

分解性・濃縮性

- ・データなし

生体蓄積性

- ・データなし

土壌中への移動性

- ・データなし

オゾン層への有害性

- ・データなし

13. 廃棄上の注意

- ・関連法規および地方自治体の条例に従って廃棄すること。

-
- ・空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去してから処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 2967
国連分類	: クラス 8 (腐食性物質)
品名	: Sulphamic acid
容器等級	: PG III
ICAO/IATA	: 該当なし
海洋汚染物質	: 該当なし
注意事項	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

- ◇船舶安全法 (危規則)
 - ・腐食性物質 分類8
- ◇航空法
 - ・腐食性物質 分類8

16. その他の情報

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。